

平成18年度事業報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

1 概 況

当学会では、平成18年度において、学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムの開催、学会誌及び年報の発行、各種研究会の開催、論文賞の選考等例年どおりの活動を行ったほか、7年ぶりにホームページを改善いたしました。

2 収支状況

収入面については、予算に比べて正会員（院生外）会費収入が427千円下回り、また、賛助会員会費収入が会員の退会及び会費の減額により15口・1,500千円減したこと等により、収入合計は21,991千円で予算を1,567千円下回りました。

一方、支出面については、管理費では、平成18年度に関西に基盤を置く理事・委員の増加等に伴う会議費（旅費）の増加、事業費では学会大会の経費増があり、また、ホームページ改善による支出等により、支出合計は23,362千円と予算を439千円上回りました。

この結果、当期収支差額は-1,372千円となり、次期繰越収支差額は2,910千円となりました。

3 会員の現況

平成18年度1年間で、正会員（院生外）については31名の入会、70名の退会、11名の種別変更による増加があり、18年度末には876名となりました。同じく正会員（院生）については、入会が10名、退会が14名、種別変更による減少が11名で差引110名となりました。また、賛助会員は5社（7口）が退会となり、18年度末における差引合計数は54社・129口となりました。

18年度中の増減状況は次表のとおりです。

【18年度中の増減状況】

		正会員 (院生外)	正会員 (院生)	合 計	賛助会員	
					団体数	口 数
18年4月1日現在		904	125	1,029	59	144
年 度 内 増 減	入 会	31	10	41		
	退 会	70	14	84	5	7
	種別変更	11	11	0		
	口数変更				(3)	8
	増減合計	28	15	43	5	15
19年3月31日現在		876	110	986	54	129

4 第23回情報通信学会大会の開催

平成18年度の学会大会は、平成18年6月24、25の両日、日本大学法学部を主催校として開催されました。第1日目は、午前中にアーリーボード（個人研究発表大学院生セッション）が行われ、午後は第23回情報通信学会総会が開催され、その中で平

成 17 年度論文賞の贈呈も行われました。続いて、全体テーマを「web ジャーナリズムの衝撃」とした基調講演とシンポジウムが行われました。2 日目には、個人研究発表及び 5 つの研究会からの報告が行われました。

プログラムの概要は表 1 のとおりです。

なお、本学会大会は、「情報通信月間」の参加行事として、「情報通信月間推進協議会」の協賛を得て実施しました。

5 第 23 回国際コミュニケーション・フォーラムの開催

第 23 回国際コミュニケーション・フォーラムは、平成 18 年 11 月 13 日に NHK 放送文化研究所との共催で千代田放送会館において開催されました。「通信と放送が生み出す未来」という全体テーマの下で、2 つのパネル・ディスカッションが行われました。

プログラムの概要は、表 2 のとおりです。

6 関西支部大会の開催

関西支部大会は平成 18 年 9 月 12 日に、関西学院大学大阪梅田キャンパスで開催されました。テーマは「携帯端末向け地上デジタル放送の現状と展望」で、基調講演とパネル・ディスカッションが行われました。

プログラムの概要は表 3 のとおりです。

7 学会誌・年報の発行

論文、論説及び特集を掲載して、次の通り発行しました。

(1) 第 80 号 (平成 18 年 5 月号) 特集・「メディアと人間」

(2) 第 81 号 (平成 18 年 9 月号) 特集・「第 23 回情報通信学会大会」

(3) 第 82 号 (平成 19 年 1 月号) 特集・「第 23 回国際コミュニケーション・フォーラム」

(4) 平成 18 年度情報通信学会年報 (19 年 3 月発行)

8 研究会の開催

平成 18 年度は表 4 のとおり、11 回の研究会を開催しました。

(開催状況)

情報通信法制・政策研究会 1 回、情報経済研究会 1 回、情報社会研究会 1 回、国際情報研究会 2 回、情報文化研究会 2 回、マルチメディア研究会 3 回、情報行動研究会 1 回

9 ホームページ改善について

学会ホームページを 7 年ぶりにリニューアルいたしました。より見やすく、わかりやすいホームページを目指し、メニューを一新しています。また、会員の住所変更等の届出をネットから行えるようにし、学会誌のバックナンバー (目次)、賛助会員の入会案内なども掲載しました。英文ページについては今後、少しずつ充実を図っていく予定です。

10 会議等の開催

平成 18 年度中に会議が次の通り開催され、付議事項が承認されました。

(1) 総会

期 日	付 議 事 項
平成 18 年 6 月 24 日 (土) 日本大学法学部本館	1 平成 17 年度事業報告及び決算報告について 2 平成 18 年度事業計画及び収支予算について 3 次期理事・監事・評議員について

(2) 正副会長常務理事会議

回	期 日	付 議 事 項
1	平成18年9月28日(木)	1 賛助会員対策について 2 平成18年度国際コミュニケーション・フォーラムの開催について 3 平成19年度学会大会の開催について 4 平成19年度国際コミュニケーション・フォーラムの開催について 5 学会誌へ掲載する彙報について 6 学会ホームページの改善について 7 学会設立25周年行事について
2	平成19年3月2日(金)	1 平成19年度事業計画案及び同予算案について 2 事務局長の交替及び職員給与の改定について 3 評議員の選出について 4 ホームページの改善について 5 平成20年度の国際コミュニケーション・フォーラムについて

(3) 理事会

次のとおり開催され、付議事項が議決されました。

回	期 日	付 議 事 項
8 1	平成18年6月2日(金)	1 平成17年度事業報告案及び収支計算案について 2 次期評議員の選出について 3 平成18年度関西支部運営委員について 4 平成17年度論文賞について 5 入会申出者の承認について 報告事項 1 賛助会員代表理事の変更について 2 会員現在数について 3 第23回学会大会準備状況について 4 第23回国際コミュニケーション・フォーラムについて
8 2	平成18年7月28日(金)	1 情報通信学会会長の互選について 2 入会申出者の承認等について 報告事項 1 会員の現在数について 2 第23回国際コミュニケーション・フォーラムについて 3 第24回学会大会について
8 3	平成18年8月8日(金)	1 情報通信学会副会長及び常務理事の互選等について 2 入会申込者の審査について

		報告事項 1 会員現在数について
84	平成18年10月25日 (金)	1 学会ホームページの改善について 2 学会誌への彙報の掲載について 3 入会者の承認 報告事項 1 会員数の現況 2 国際コミュニケーション・フォーラムについて (1) 平成18年度準備状況 (2) 平成19年度企画案 3 19年度学会大会準備状況について 4 文科省「公益法人概況調査」への対応について
85	平成19年3月14日(水)	1 平成19年度事業計画案及び同収支予算案について 2 事務局長の交替及び職員給与の改定について 3 評議員の選出について 4 関西支部運営委員の交代について 5 学会設立25周年記念フォーラムの企画等について 6 ホームページ改善について 7 入会申出者の承認について 報告事項 1 会員数の現況について 2 第24回フォーラムアンケート調査結果について

(4) 評議員会

次のとおり開催され、付議事項が議決されました。

回	期 日	付 議 事 項
19	平成18年6月2日(金)	1 平成17年度事業報告案及び収支決算案について 2 次期理事等の選任について 3 賛助会員代表理事の変更について 報告事項 1 会員現在数について
20	平成19年3月14日(水)	1 平成19年度事業計画案及び同予算案について 2 事務局長の交替及び職員給与の改定について 3 ホームページ改善について

		報告事項 1 評議員の選出について 2 会員数の現況について 3 第23回フォーラムのアンケート結果について
--	--	---

(5) 委員会

ア 研究企画委員会

回	期 日	議 案
1	平成18年10月19日	1 平成19年度国際コミュニケーション・フォーラム計画案及び国際コミュニケーション基金申請書について 2 平成20年度国際コミュニケーション・フォーラム計画案について 3 平成19年度学会大会の開催について
2	平成19年1月26日(金)	1 平成19年度学会大会の開催について 2 平成19年度国際コミュニケーション・フォーラムの開催について 3 平成20年度学会大会の開催について 4 平成20年度国際コミュニケーション・フォーラムの開催について

イ 事業企画委員会

回	期 日	議 案
1	平成19年1月13日(土)	1 平成19年度国際コミュニケーション・フォーラムについて 2 平成20年度学会大会について 3 平成20年度国際コミュニケーション・フォーラムについて

イ 編集委員会

回	期 日	議 案
1	平成18年8月25日(金)	1 投稿論文の査読等について 2 「論説」の意義について 3 学会誌等の記事について
2	平成18年10月4日	1 依頼論文のテーマの選考

(6) 関西支部運営委員会の開催

回	期 日	議 案
1	平成18年5月23日(火)	1 新旧運営委員交替について 2 平成18年度事業計画について 3 第1回研究会について 4 関西支部大会について 5 その他
2	平成18年7月20日(木)	1 関西支部大会について

		2 その他
3	平成18年9月4日(月)	1 支部大会準備進捗確認について 2 18年度研究会実施計画について
4	平成18年12月13日(水)	1 19年度学会大会実行委員の任命について 2 19年度学会大会運営について

表1 第23回情報通信学会大会プログラム概要

基調講演		
講 師	大井眞二	日本大学法学部教授
	金 正勲	慶應義塾大学 DMC 助教授
テーマ	『web ジャーナリズムの衝撃』(第1セッション)	
シンポジウム		
テーマ	『web ジャーナリズムの衝撃』(第2セッション)	
モデレータ	大石 裕	慶應義塾大学 法学部教授
パネリスト	西島 徹	読売新聞社 メディア戦略局 開発部
	山下清美	専修大学ネットワーク情報学部教授
	牧 登	(株)東京放送 メディア推進局総合企画部 部次長
	大井眞二	日本大学 法学部教授
	金 正勲	慶應義塾大学 DMC 助教授
総合コメンテータ	岩井 奉信	日本大学 法学部教授
研究会報告		
情報社会研究会		
テーマ	「利用者の視点から公的ウェブを再考する 総務省の報告書などをもとに」	
司 会	中村 広幸(芝浦工業大学)	
法制・政策研究会		
テーマ	「デジタル時代の放送法制 1950年放送法、電波法の限界」	
発表者	服部 孝章(立教大学)	
司 会	小菅 敏夫(電気通信大学)	
国際情報研究会		
テーマ	「9.11以降のブッシュ政権の情報通信政策」	
発表者	青木 伸行(産経新聞)	
司 会	時野谷 浩(東海大学)	
情報行動研究会		
テーマ	「日本人の情報行動(2005年全国調査データをもとに)」	
発表者	小笠原 盛浩(東京大学院生)、中野 佐知子(NHK放送文化研究所)	
司 会	橋元 良明(東京大学)	
マルチメディア研究会		
テーマ	「どうなるこれからの情報格差社会」	
パネリスト	江下 雅之(目白大学)	中尾 浩(愛知大学)
	町村 泰貴(南山大学)	川村 晶子(富士通株)
司 会	中野 幸紀(関西学院大学)	
個人研究発表	アーリーバード：6件、一般：21件	

表2 第23回国際コミュニケーション・フォーラムプログラム概要

全体テーマ 「通信と放送が生み出す未来」

第1パネル・ディスカッション

「通信と放送の融合・連携：フレームにおける可能性」

パネリスト

- 飯塚久夫 (NTTラーニングシステムズ社長)
上瀬千春 (フジテレビ役員待遇デジタル技術推進室長)
木村 純 (松下電器産業eネット事業本部長)
中田 睦 (総務省大臣官房審議官 情報通信政策局担当)
成毛 眞 (インスパイア代表取締役社長)

コーディネーター

鈴木祐司 (NHK放送文化研究所主任研究員)

第2パネル・ディスカッション

「通信と放送の融合・連携：コンテンツにおける可能性」

パネリスト

- 白石 草 (OurPlanet-TV代表理事)
高垣佳典 (USEN取締役コンテンツ事業本部長)
土屋敏男 (日本テレビ第2日本テレビ事業本部エグゼクティブ・ディレクター)
横沢 彪 (吉本興業前相談役)

コーディネーター

菅谷 実 (慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授)

表3 関西支部大会プログラム

- . 日時 : 平成18年9月12日(火)
- . 場所 : 関西学院大学大阪梅田キャンパス K.G.ハブスクエア大阪
- . テーマ : 「携帯端末向け地上デジタル放送の現状と展望」
- . プログラム
 - ・支部総会
 - ・基調講演
 - 有村正意氏(株式会社NTTドコモ関西 代表取締役社長)
 - 「携帯電話の今後のサービス展望について
 - ～生活に役立つケータイとワンセグサービスへの取組み～」
 - ・シンポジウム(14:30~17:00)
 - テーマ:「携帯端末向け地上デジタル放送の現状と展望」
 - コーディネーター: 富田英典運営委員
 - パネリスト
 - 兄部純一(NHK編成局デジタルサービス部部長)
 - 小柴恵一(松下電器産業株式会社eネット事業本部)
 - 佐藤則明(トヨタ自動車株式会社IT/ITS企画部調査渉外室調査グループ長担当課長)
 - 戸倉信吉(朝日放送株式会社総務局付顧問・社友会事務局長)
 - 黒田 勇(関西大学社会学部教授)
 - 岡田朋之(関西大学総合情報学部助教授)

表4 研究会開催状況

【情報通信法制・政策研究会】

主 査：小菅 敏夫（電気通信大学大学院名誉教授）

幹 事：清家 秀哉（テレコム・リサーチ・インターナショナル）

服部 孝章（立教大学教授）

第1回（平成18年6月25日）

報 告：デジタル時代の放送法制 1950年放送法、電波法の限界

発表者：服部 孝章（立教大学）

司 会：小菅 敏夫（電気通信大学）

【情報経済研究会】

主 査：菅谷 実（慶應義塾大学教授）

幹 事：浅井澄子（大妻女子大学教授）

内山 隆（千葉商科大学教授）

第1回（平成19年3月9日）

報 告：「コンテンツ産業の構造変化の多様性と普及形態に与える影響」

報告者：浅井澄子（大妻女子大学社会情報学部助教授）

司 会：菅谷 実（慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授）

【情報社会研究会】

主 査：中村 広幸（芝浦工業大学工学部教授）

幹 事：井村 保（中部学院大学人間福祉学部講師）

第1回（平成18年6月25日）

報 告：利用者の視点から公的ウェブを再考する 総務省の報告書などをもとに

報告者：（ディスカッション）

司 会 中村 広幸

【国際情報研究会】

主 査：時野谷 浩

幹 事：小山 圭太

小川 恒夫

第1回（平成18年6月25日）

報 告：「9・11以降のブッシュ政権の情報通信政策」

報告者：青木 伸行（産経新聞）

司 会：時野谷 浩

第2回（平成18年11月27日）

報 告：「第2次レバノン戦争とニュース・メディア」

報告者：Gadi Wolfsfeld（ヘブライ大学教授）

司 会：時野谷 浩

【情報文化研究会】

主 査：富田 英典（佛教大学社会学部教授）

幹 事：米田 司（NTT西日本 経営企画部 企画部門 企画・組織担当部長）

第1回研究会（平成19年2月24日）

報 告：「WiMaxなどワイアレスブロードバンドアクセスへの期待と今後」

発表者：杉原 佳堯（インテル㈱政府渉外部長）

三須 久（関西ブロードバンド(株)社長）

南 淳一（(株)KDDI技術統括本部 技術戦略部ワイヤレス・ブロードバンド開発室課長）

第2回研究会（平成19年3月12日）

報告：「ドキュメンタリーチャンネルの実践」

発表者：催 銀姫（佛教大学社会学部専任講師）

【マルチメディア研究会】

主 査：中野 潔（大阪市立大学大学院創造都市研究科教授）

幹 事：中野 幸紀（関西学院大学政策学部教授）

栗原 道隆（総務省近畿総合通信局情報通信部長）

第1回研究会（平成18年6月8日）

報告：「情報通信技術を活用した安全安心まちづくりにおける意思形成手法と資金
手当て手法」

発表者：真鍋 陸太郎（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻助手）

正木 啓子（大阪府道路公社常務理事）

中本 美香（関西学院大学大学院研究員）

パネルディスカッション

テーマ：「情報通信技術を活用した安全安心なまちづくりにおける意思形成手法と資金
手当て手法」

コーディネーター：瀬田 史彦（大阪市立大学大学院助教授）

パネリスト：中野 潔、真鍋 陸太郎

正木 啓子、中本 美香

第2回研究会（平成18年6月25日）

報告：どうなるこれからの情報格差社会

パネリスト：江下 雅之（目白大学）、中尾 浩（愛知大学）

町村 泰貴（南山大学）、川村 晶子（富士通(株)）

司 会：中野 幸紀（関西学院大学）

第3回研究会（12月18日）

テーマ：デジタルジャーナリズムの現状と展望

発表者：橋場 義之（上智大学新聞学科教授）

築地 達郎（京都経済新聞代表）

対論者：中野 潔（大阪市立大学都市情報学専攻教授）

【情報行動研究会】

主 査：三上 俊治（東洋大学社会学部教授）

幹 事：吉井 博明（東京経済大学コミュニケーション学部教授）

橋元 良明（東京大学社会情報研究所教授）

第1回研究会（6月25日）

報告：日本人の情報行動(2005年全国調査データをもとに)

報告者：小笠原 盛浩（東京大学院生）、中野 佐知子（NHK放送文化研究所）

司 会：橋元 良明（東京大学社会情報研究所教授）